各施設比較表

2023/12/7

	項目	土浦リハビリテーション病院	牛尾病院	初富保健病院	総泉病院	秀眉園
	開設日	2022年11月	2018年8月	2019年2月	2019年11月	2023年4月
	定員	96人	60人	320人(ロイヤル館個室200人、東館120人)	99人(現在介護職が不足しているため稼働は52床)	120人
8	**看取り(年間)**	33名	看取り2022年は60名、2023年11月時点で30名	死亡退院は退院者の60～65％　(2022年度107名)	2022年　56名　2023年(10月まで)　8名	4～10月実績で22名
16	**在宅復帰**	自宅2名(③自宅で看取り②思っていたものと違う)	在宅復帰2022年は1名	2022年度　自宅退院15名	2022年　6名(うち自宅は2名)　2023年(10月末まで)0名	2023年(10月末まで)で7名
9	**平均要介護度**	4.2	4.7	3.9	4.3	3.45
12	**稼働率**	約95％	97.30％	80％	100％	100.10％
1	**Ⅰ型・Ⅱ型を選択した理由**	当施設は、病院と並列の為、夜間も医師が配置されているためⅠ型を選択	Ⅱ型（療養病棟からの転換）Ⅰ型だと、何かがあったとき看護師１名の夜勤では厳しい。（介護士は２名）	Ⅰ型の方が報酬が高いこと、介護療養型医療施設が前身のため。	地域（特に紹介が多い医療機関）のニーズを調査かつ、経営効果が高いⅠ型を選択。（療養病棟からの転換）	Ⅱ型 老健（加算型）からの転換だった為
2	**サービス費（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）？変更したことはか？**	開設時はⅡ、3か月の実績で２月よりⅠを取得	サービス費（Ⅱ）変更は無し	サービス費の変更歴は無し	サービス費：Ⅰ　変更なし	Ⅰとなります。変更したことはございません。
5	**移行に際し、苦労したことがあればお教えください**	契約・ケアプランの作成（多職種の意見集約） 介護施設の運営規定上の委員会設置や役割分担	介護医療院への転換に当たっては地域の方に対しても説明会を開催した。 職員の配置や人員は何の問題なく移行。（求人はなかった）	パーテーションの規格がはっきり決まっておらず、発注に手間どった。（パーテーションは特注）	・院内の患者調整、パーテンション工事時に同病内の患者調整(MSW)・計画書の作成し直し、依頼箋、ケアプランの発見(リハビリ)・家族への説明(体制変更、費用など)や契約書締結、運用書式の変更(看護)	転換に向けての資料作成。看護職の人材確保
23	**お風呂 算定加算に関する取り組みとして、自立支援加算について、マンツーマン入浴に実施はしていますか？どのような方法で実施していますか？**	多職種でカンファレンスを行い利用者に合わせた浴槽を選択後、ご家族に了承をいただいております。入浴介助は、利用者１名に対し介護士１～２名で介助します。利用者の重症度に応じて看護師も介助を行います。	マンツーマン入浴は実施していない。介護度が高いため対象はいない。 入浴は週2回（月･木）で実施。病院患者との兼ね合いもあり、全入所者60名をミスト浴にて入浴。朝8:30～10時に約20名。昼12:30～17時に残りの方で入浴。二人介助のトランスファーが多く職員の体力を考え、男性の入所者から入浴。職員配置は、浴室内が看護師を含む3名、脱衣室での更衣が3名。祝日は、特変時に指示を仰ぐ待機医が不在な為入浴は実施せず、全て清拭と着替えを行っている。 散髪は毎週一回、契約している業者が来訪。一度に3名ほど利用されている。ベッド上でカットする方も多く、必要な時には散髪業者の方が3名来て協力してカットしてくれている。	個浴は実施していない	算定していない ・機械浴、個浴使用 ・リフトなし	自立支援加算の取得はしておりません。 ・入浴専属チームあり →人員不足の場合は事務やＮＳ、リハが関わる ・寝台浴1台、個浴台（入浴用リフトあり　電動：浴槽一体型）、大浴槽 ・シャワーチェアー、シャワーキャリーあり ・1階に浴室あり ・浴室前入口に「ゆ」とかかれた暖簾あり
23	**お風呂設備は？**	**・チェアバス　1台** **・個浴　　1台** **・ストレッチャー浴　1台** **・ユニットバス　2台** ・寝台浴、座浴（ルーミー）、個浴（家庭風呂） ・シャワーチェアー、シャワーキャリー、滑り止めマット ※リハビリ室にバスグリップ、バスボードあり ・各フロアに浴室あり ・個浴は風呂縁が狭い、両サイドにL字の手すりあり ・入浴時間15～30分/人 ・リフトの利用なし ・天井近くにヒーターあり ・窓からの景色がよい ※リハビリスタッフへの聴取：入浴練習は依頼があれば実施	・機械浴（美浴　ストレッチャー）2台、大浴場（温泉と表記あり）、家庭浴　1台 ・機械浴室広い、脱衣所広い ・機械浴室に機械浴が2台あり、ストレッチャーの方が4名入れる ・大浴場に階段あり ・大浴場の入口に温泉効能の表記あり ・シャワーチェアー、シャワーキャリーあり ・リフトの利用なし ・天井近くにヒーターあり ※リハビリスタッフへの聴取：入浴練習は対象者がいない。中間浴がないため、座位が保てる利用者様であっても機械浴となってしまう	・入浴専属チームあり ・機会浴、個浴（固定式リフトあり） ・入浴場所はフロアにない		・フロアの異動はあるも他施設への転出転入はなし。入浴は入浴専属職員を非常勤で雇用している。高齢になったり、辞職する方も多く補充に苦労している。足りない際は、看護、事務職やリハスタッフもヘルプに入ったりもする。更衣、移動は介護スタッフが対応。 ・機械浴、リフト浴、歩行浴で歩行浴はスロープになって段差のない入口もある。 ・衣服はレンタルで同一のものを使用。そのまま洗濯業者に出している。

	項目	土浦リハビリテーション病院	牛尾病院	初富保健病院	総泉病院	秀眉園
	居住空間（間仕切り）	・各部屋にパイプが完備。 ・可動式のパーテーション ・可動式の床頭台 ・洗面台は低い ・全体的に和テイスト（障子風・すりガラスあり） ・全居室に酸素、吸引あり（木目調のカバーあり） ・可動式棚 ・仕切りは、折り戸 →ストレッチャー等の移乗を楽に行うため ・階毎に花の名前がついている →居室前に番号＋花の名前とイラストあり ・居室前に名前＋感染シール（MRSEだったらMと記載しているようなシールあり） 　→ケアをするスタッフがわかりやすいようにしている	4人部屋の仕切りは、可動式のパラマウントのパーテーション。木目調で、畳2枚分くらいに広がる。8年前にカーテンから移行して、パラマウントの業者に取り付けて頂いた。居室もエスペーロよりも広い。 ・全居室に酸素、吸引あり ・仕切りは半分可動式（木目調） ・ESPよりも居室が広い ・居室前に名前あり＋花と名前のイラスト 　→療養病棟の時からあるもの ・自動体交マットレス（オスカー）を完備 　→購入＋レンタル（総数不明）で購入分に関しては常に可動している	・全居室に酸素・吸引あるが、4人床部屋で2箇所 ・仕切りと棚が一緒になっており可動式（木目調） ・ESPよりも居室が広い ・居室前に名前あり（隠せるようになっている） ・ベッドシートは包み型 　→非常勤や資格をもっていないスタッフがベッドメイキングを楽に行えるように	・パーテーションは後付けで固定（木目調） ・中央配管は2人で一つ使用 ・ESPよりも居室が広い印象 ・居室前に名前あり ・居室前の名前が書いてある場所に、その日の担当NSのネームが書かれている ・自動体交マットレス（アマンダ）を完備 ※病院と併用 　→他のマットレス：テルサ、エバープラウド、ストレッチグライド、マキシフロート、コンフォケアマット、エバープラウド ・車椅子用体動体動コールあゆみちゃんを設置している箇所あり ・体位交換表はラミネートされ、繰り返し使える	・千葉市より1床空床にて準備しておくとの指導もあり、対応している。 ・廊下幅は2m80の規定ギリギリでクリアした。 ・後付けパーテーション固定と棚あり →パーテーションの上方に明り取りの小さいすりガラスあるが暗い →パーテーションが固定されており、移乗動作が大変とのこと。千葉市の基準では固定が必要と指摘を受けたとのこと。 ・中央配管なし 　→1階の診察室に酸素を管理している ・全ての居室前にアルコール設置 ・居室前に名前あり ・居室内洗面所の横にパーテーションあり 　→車椅子がギリギリ入る幅で暗い ・個室はトイレあるが、カーテンで仕切られているのみ
	環境（食堂）	・二か所に酸素と吸引あり ・窓がおおきく、明るい ・テーブルに何も置かれていない ・椅子が少ない ※リハビリスタッフへの聴取：テーブルは高さが固定されているもので、使いにくさがある	・固定式テーブル少ない、サイドテーブルが多い 　→リクライニング車椅子やベッドを食堂に持ってきて、食事を召し上がっているため※固定式テーブルは片付けていた ・利用者様のレクの作品が飾ってある ・TVをつけていた ・食事は基本全員離床してデイルールにて召し上がる。車椅子も厳しい方はベッド出ししている。胃瘻は作っている方はほぼいない。	・景色がよい、統一観のある空間 ・テーブルに何もおかれていない ・おしゃれな椅子が多い ・サイドテーブルとテーブルが設置されている ・誕生日月の利用者様の名前が書かれていた 　→クリスマス使用でデザインされていた	・療養病棟の食堂に近い雰囲気 ・固定式テーブルが多く、パーテーションをテーブル上においている ・離床されている利用者様が多い印象。リクライニング の利用者様も離床されていた ・車椅子にテーブルを取り付けたままの利用者様がいた	・季節を感じられる飾りつけが多かった 　→CW主体で夜間帯に行っているとのこと 　→工作が好きな職員や利用者様がおり、積極的に行っているとのこと ・TVあり ・食堂自体はコンパクトで、椅子に乗り換える場合は狭い
	利用者様の雰囲気 一日の過ごし方 ※離床しているか	・利用者様の状態に合わせて離床 ・伺った時間（15:30～16:30頃）で離床している利用者様は少ない ※リハビリスタッフへの聴取：多職種で離床をすすめている ・利用者様が、余暇等を行っている様子はなかった ・フロアで食事をする	・食事またはリハビリの時に離床 ・伺った時間（15:00頃）で離床している利用者は少ない ・ほとんどの方がベッド上で過ごされている ※リハビリスタッフへの聴取：多職種で離床をすすめている	・伺った時間（15:00～16:00頃）で離床している利用者様は多くなかった（これまでの視察では多い） ・音声認識人形 おしゃべりみーちゃん・けんちゃんがテーブルにおかれている ・利用者様の状態に合わせて離床 ※リハビリスタッフへの聴取：多職種で離床をすすめている ・フロアで食事をする	・伺った時間（14:00頃）で離床している利用者が多い ・車椅子自走や塗り絵を行っている利用者様がおり、比較的活気がある ・長時間の離床はしておらず、定期的に臥床している ・リクライニング車いすの方も多く離床されていた	・車椅子の背面に名前シールを張り付けていた ・衣類はリースのため、全員が同じ服をきている 　→衣類間違えやタンスから荷物があふれることがないとのこと ・多くの方が離床されて活気がある ・U字型歩行器使用し付き添いで歩行を行っている利用者様がいた
	レクリエーション※どこで、どのようなことを、介護度に応じて？	・誕生日会（毎月）、季節の行事あり、外部のお祭りの見学あり ・フロアメインで実施 ・感染対応の方の場合は、居室で行う事もある	・誕生日会、クリスマス会、七夕を実施 ・リハビリの取り組みでレク実施 →週1回映画鑑賞実施（食堂で） →集団リハで介護度に応じて実施（散歩、歌）	・アクティビティ専属チームあり 　→外部の講習会に参加したスタッフ（介護福祉士や看護師） ・ライブラリーやフロアで実施　（以下は省略）	・季節のイベント、歌声クラブ、ゲームレク、園芸クラブ、カフェ、アクティビティ等実施 ・リハビリの取り組みとしては行っていない。イベントの時に普段離床できていない利用者様の離床を図っている ・「思い出ミュージアム」という昭和レトロな部屋がある	・おやつレク　月1回 フルーチェ・パフェづくり→ソースを選んでもらう ブタメンづくり→お湯を注いでもらう 焼きそばづくり・インド料理を味わう（インドの留学生あり）・棒体操：おやつ前に実施・フラワーアレンジメントあり・ゴシゴシ体操：TVに合わせて、手で体をさする・園芸：園芸活動（ベランダのプランター）を行い、できた野菜を実際に試食する（園芸はリハビリ管理で栄養科と相談）・メダカ鑑賞
	面会スペース	・各フロアに面会スペースあり ・パーテーションあり ・時間と組数を限定 ・ターミナルの利用者様用の家族室が各フロアにあり（宿泊可能）	・居室または食堂でパーテーション越しに面会 ・1回10分程度 ・面会は透明なパーテーションを使用し対面での面会、月に2回まで行える。	・オンライン（スマホのLINE）使用 ・社員食堂（カフェテリア）のスペースを使用 ※大勢で面会に来ても大きいガラス越しに面会可	13：30～面会2名まで20分程度（検温・マスク着用）基本的には高校生以上が対面可能。 ・中学生以下は病院受付前で面会可能 　→面会が自由に行えるようにしている	